

農業施策の基本方針（R3～）（案）

1. 趣旨

本市は東部地域に平野、西部地域に中山間地が広がり、中心部には大消費地である市街地を抱えている。主に中心市街地の郊外部においては人口減少・高齢化が進み、農業及び農地や施設の維持管理における負担が増加している。

一方で、新型コロナウイルス感染症の流行やライフスタイル等の変化により食に対する消費者の意識やニーズが多様化しており、農業の可能性は広がっているとみえる。

本基本方針は、これらの立地特性や農業を取り巻く現状を踏まえ、本市農業が今後持続的に発展していくために取り組む5年程先までの施策の考え方を示したものである。

2. 期間

本方針の実施期間は概ね令和7年度までとする。

3. 目指す将来像

地域や環境の特性に応じた生産力の向上や経営力の強化により、地域資源が適切に形成・保持され、広く市民に農業の魅力や恵みをもたらし、持続性の高い農業が発展している。

- 東部地域ではほ場整備により大区画化された農地を活かした大規模で生産性および収益性の高い農業が展開されている。
- 西部地域では鳥獣被害対策が徹底され、中山間地域等の特性を生かした自然共生型の農業経営に取り組んでいる。
- 市内全域において、経営規模の大小にかかわらず多様な担い手が各々の経営目標の実現に向けデータ駆動型農業に真摯に取り組んでいる

4. 4つの柱

将来像の実現に向けて、以下4つの柱に沿った農業施策を展開する。

- (1) 経営体の確保・育成
- (2) 生産基盤の強化
- (3) 魅力ある地域の形成
- (4) 収益の向上と所得の確保

(1) 経営体の確保・育成

【方針】

多様な担い手を確保し、地域の農業を牽引する人材を育成するとともに、経営の安定と経営力の強化を支援する。

【講ずべき施策】

- ① 若年層の新規就農者や起業者、兼業農業者など多様な担い手が各々の目指す農業に安心して取り組めるよう就農や事業の継続に向けた支援を行うとともに、雇用による就農を促進するためのマッチングの支援を行う。
- ② 認定農業者や組織化・法人化した集落営農など、地域農業の中心となる経営体を増加させるとともに、経営体の円滑な世代交代・事業承継を支援する。
- ③ 経営の安定に向け専門家派遣や研修などを実施し、経営感覚豊かな農業経営者を育成する。

(2) 生産基盤の強化

【方針】

農地の大区画化や汎用化、農業用施設の維持管理などにより、良好な生産基盤の整備と保全、活用を進める。

【講ずべき施策】

- ① 中山間地であり狭小な農地が多い西部地区において、農地の大区画化・汎用化による生産性の向上を図るためほ場整備を実施する。
- ② 老朽化や近年甚大化する自然災害への対応として、長期計画に沿った農業用施設の予防的な補修や更新を行う。
- ③ 農地の保全のため、農業振興地域整備計画を適切に運用する。
- ④ 地域住民主体で検討した今後の地域農業のあり方に基づき、中心となる担い手への農地の集積・集約を進める。

(3) 魅力ある地域の形成

【方針】

鳥獣被害対策や地域資源保全活動等の地域振興の取り組みを支援するとともに、農業の持つ多面的機能の市民全体による理解と共有を進める。

【講ずべき施策】

- ① 野生鳥獣の農地への侵入防止策を強化しつつ、捕獲・処分体制を整備する。
- ② 農業の持つ多面的機能の維持・発揮のため、農地保全の地域活動を支援するとともに、積極的な情報発信により市民全体で生産環境を保全する意識を高める。
- ③ 市民と農業の交流の増加につながる農園や農業体験の取組を支援する。

(4) 収益の向上と所得の確保

【方針】

地域の特性等を鑑みた生産性の高い農業の振興及び新たな需要の開拓や農産物のブランド力の強化等により収益を向上させる。

【講ずべき施策】

- ① 効率的かつ収益性が高い農業の推進のため、市内のニーズにあった生産性の高い品目の推奨や ICT など先進技術の導入を支援する。
- ② 水田の転作や非主食用米の作付を促進するなど、需給を意識した栽培を推進する。
- ③ 大消費地に近い強みを生かした市内産農産物の地域消費量増の推進や、購買層を意識した農産物の栽培・魅力の発信など、戦略的な販売促進に取り組む。
- ④ 輸出や首都圏への販売、観光客の土産需要等を見込み、食産業や流通業などの異業種との連携や6次産業化による新たな販路・商品づくりの取組を支援する。

(用語説明)

【データ駆動型農業】 …

【ICT】 …

【認定農業者】 …

【農業振興地域整備計画】 …

【農地の集積・集約】 …

【多面的機能】 …

【6次産業化】 …